

# デーリー東北

2017年(平成29年)4月1日(土曜日)(20)

## 町と八工大開発

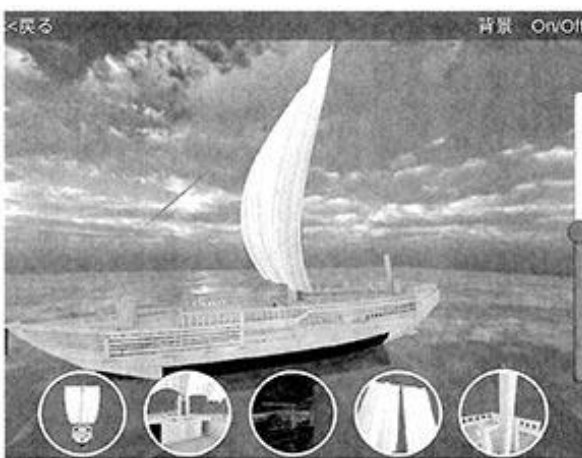
# 「みちのく丸」アプリ完成

### 野辺地

野辺地町が所有する復元北前船「みちのく丸」を紹介するタブレット端末用のアプリが完成した。29日、開発を担当した八戸工業大の教員と学生が町役場を訪れ、中谷純逸町長らにお披露目した。アプリは、船の詳しい歴史のほか、3DCGのモデルも見られる力作。今後、町内の歴史民俗資料館や観光物産PRセンターなどで閲覧できる予定だ。(山内淳一)

開発は町から委託を受け、お年寄りから子どもまで、同大工学部システム情報まで誰もが見やすく、簡単に工学科の小玉成人、伊藤智也、扱えるように設計した。英語両准教授の研究室が担当。学の説明文も加えられている。生の工藤優輝さん、小向俊樹、目玉となる3Dモデルは、さん、田村優介さん、日野真、日野さんが担当。部品一つ一由美さんが約8カ月かけて完成させた。

アプリには船の歴史や構造の解説のほか、関連史跡が見られる地図などのコンテンツを用意。アイコンや文字を大



実物をほぼ忠実に再現した「みちのく丸」の3Dモデル

## 構造や歴史詳しく紹介

気分を味わえる。

このほか、位置情報を発信するビーコンの電波を受信できる機能も搭載。展示物などの近くにビーコンを配置すれば、探索を楽しみながら見学するといった活用も可能だ。

この日は、両准教授と小向さんが町役場を訪ね、実際に端末を操作しながら、町長らに説明した。中谷町長は「とてもいいものを作ってもらった。たくさんの人に見てもらい、魅力を知ってほしい」と絶賛し、学生たちの努力をたたえた。

アプリは、全国の関連自治体が集まり、9月に同町で開催される「北前船寄港地フォーラム」でも活用される予定。現在は町所有の15台の端末で見ることができないが、町の担当者は「一般公開については、今後検討したい」と話している。



中谷純逸町長(左)にアプリの使い方を説明する小向俊樹さん(右)